



# Rainbow letter

2016.5  
No.3

日本周産期メンタルヘルス学会・ニュースレター

## <<次回学術集会開催予定>>

### 第13回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会

日時：平成28年11月19日(土)・20日(日)

場所：KFC Hall & Rooms 国際ファッションセンター  
(東京都墨田区)

大会長：鈴木利人

(順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学分野教授)

テーマ：周産期メンタルヘルスリテラシーの向上を目指して

参加費：正会員 5,000円・非会員 6,000円・学生 1,000円

◆参加申込受付を開始しました。

E-mail と FAX にて参加申込みを受付けます。

◆一般演題募集を開始しました。

周産期のメンタルヘルスに関わる一般演題を募集します。

演題応募締切 2016年7月15日です。

◆参加申込方法、一般演題募集要項、抄録テンプレートは、  
学会HPにてご確認ください。

## <学会事務局便り>

### 玉田先生を偲んで

本学会顧問、玉田太朗先生が、2015年11月26日交通事故で急逝されました。奇しくも、本学会が研究会から学会に移行して、初めて開催された学術集会と同月同日でした。しかも、本学術集会が開催された会場は、玉田先生が産婦人科学教室の初代教授(現名誉教授)として昭和49年にご就任された自治医科大学でした。玉田先生は第12回の学術集会長の自治医科大学産科婦人科学講座主任教授の松原茂樹先生のもとに、学術集会の企画にも喜々として参与され、また学会期間中も小生の特別講演の司会までお務め戴きました。学会期間中、終始喜んでおられたご様子が今でも目に浮かびます。

小生が、玉田先生と最初にお会いしたのは20年前頃で、当時理事長を務められていた日本女性心身医学会の研修会の場と記憶しています。その時、周産期精神医学の領域は日本では、minor であるが、長く続けてくださいとご声援を戴きました。2003年に日本周産期メンタルヘルス研究会を創設後は、顧問として毎年のように学術集会にご参加戴き、周産期の気分障害に関心を示されていきました。玉田先生の臨床体験の中からも周産期医療の逸話を拝聴しましたが、特に入院中の自殺例を「何とかならなかったのか」と無念がられた様子が今でも脳裏に焼き付いています。

一方、玉田先生は研究についても生涯ご熱心に研鑽された方でした。着想された新たな研究テーマを時々メールで送付され、コメントを求められたこともありました。そうした研究内容は、2014年にご出版された「保健・看護・医療職のための『女性心身医学』入門」というご本に結実されたと思われまます。

日本周産期メンタルヘルス学会は、様々な領域の先駆者からご支援を受けながら、今日まで発展して参りました。本学会の偉大な先達を失ったことは非常に残念です。

最後に謹んで玉田太朗先生のご冥福をお祈り申し上げたいと思います。

(理事長/岡野禎治/三重大学保健管理センター教授)

### 学会間の連携深まる

#### ～日本総合病院精神医学会理事長との懇談をきっかけに～

昨年2015年12月20日13時より、東京大手町にある、神楽坂前田芳春庵にて、本学会理事長岡野禎治先生と、日本総合病院精神医学会理事長の黒木宣夫先生との懇談会がありました。当日は、総合病院精神医学会からは、同学会理事の八田耕太郎先生、本学会から、鈴木利人理事、竹内崇理事と私 渡邊も参加しました。

まず、岡野理事長より、本学会の成り立ちを紹介し、2001年の日本周産期メンタルヘルス研究会の設立から2014年の学会移行、2015年には日本産婦人科学会、日本産婦人科医会との合同会議を経て、産科ガイドラインの作成支援に至っていること、妊産婦自殺の問題や、院内外リエゾンの必要性など、周産期精神医療を取り巻くニーズや期待が高まっていることを説明しました。

続いて黒木先生より、総合病院精神科やリエゾン加算についての現況、総合病院精神医学会での周産期ネットワークに関する取り組みの計画などの説明をいただきました。さらに、八田先生からは、同学会治療戦略委員会にて、専門領域の学会と連携したシンポジウムや研修会の開催を企画しており、11月25日-26日の学会総会で、すでに周産期関連のシンポジウムを企画中であるとお話をいただきました。その後は、ランチを取りながら、終始和気藹々と情報交換が進み、双方の学会にとって、大変有意義な意見交換、懇談ができました。

今回の懇談を踏まえて、本学会として、総合病院精神医学会との連携を進め、様々な共同研修、研究、提言などを行っていく素地が固まったといえます。さらにさまざまな関連領域連携のハブ機能を果たしていく役割が本学会に期待されているという過言ではないでしょう。

(理事/渡邊博幸/学会会木村病院院長・千葉大学特任教授)

## ((投稿記事募集!))

会員の皆様にとって有用な情報をニュースレターで取り上げていきます。詳しくは学会ウェブサイト(→QRコード、<http://pmh.jp/index.html>)または、学会事務局(E-mail:mental-3@hac.mie-u.ac.jp)まで。

\*企画・発行：日本周産期メンタルヘルス学会 事務局・情報関連委員会

